

第3学年 技術科 シラバス

1 教科の目標
技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生活や社会で利用されている生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 (2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価の観点・規準・材料		
評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	授業への取り組み 作品 定期考査
II 思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	作品 定期考査 ワークシート
III 主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	授業への取り組み ワークシート 技術ノート

3 年間指導計画		
学期	月	単 元 ・ 内 容
一学期	4 月	計測・制御のプログラミングによる問題解決 ・計測・制御システムとは ・問題の発見,課題の設定 ・計測・制御システムの構想 ・計測・制御システムのプログラムの制作 ・問題解決の評価,改善・修正
	5 月	
	6 月	
	7 月	
二学期	9 月	社会の発展と情報の技術 ・情報の技術の最適化 ・これからの情報の技術
	1 0 月	
	1 1 月	
	1 2 月	
三学期	1 月	技術分野の学習を終えて ・SDGs と技術とのかかわり ・学んだことを社会に生かす
	2 月	
	3 月	

4 学習のポイント
1. A. B. C の基準 I 知識・技能 A 作品・定期考査などにおいて8割以上達成している B 作品・定期考査などにおいて5割以上達成している C 作品・定期考査などにおいて5割以上達成できていない II 思考・判断・表現 A デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて8割以上達成している B デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成している C デザイン案・作品・レポート・定期考査などにおいて5割以上達成できていない III 主体的に学習に取り組む態度 A 授業への取り組みやワークシートの記入および提出状況などにおいて8割以上達成している B 授業への取り組みやワークシートの記入および提出状況などにおいて5割以上達成している C 授業への取り組みやワークシートの記入および提出状況などにおいて5割以上達成できていない 2. 学習を進めていく上でのポイント ・興味をもって主体的に粘り強く取り組むこと。 ・先生の説明やポイントをしっかりと聞くこと。作品の目的やねらいを理解し、作業を行うこと。 ・授業の準備をしっかりと行うこと。忘れ物をしないことはもちろん、自宅で学習する場合もあります。 ・後片づけをきちんと行うこと。 ・提出物の期限を必ず守ること。 ・製作の流れや順序を考え、道具を適切に選択できるようにする。 ・道具や材料について正確な知識を持ち、安全に正しく使うこと。丁寧に粘り強く作業することが製作の基本です。 ・技術によるより良い生活や持続可能な社会を目指すことを考えるようにする。 ・自分の考えや感じたことを対話や文章等で、人に分かりやすく伝えられるようにする。